

ー 連続テレビ小説「おかえりモネ」気仙沼プロジェクト 公開シンポジウム ー

## 「おかえりモネに，はまらいんや！」を開催します

- 連続テレビ小説「おかえりモネ」気仙沼プロジェクト実行委員会では、NHKの「おかえりモネ」広報展開プロデューサー並びに2019年度前期放送「なつぞら」の舞台となった十勝・帯広の関係者をお招きし、「おかえりモネに，はまらいんや！」と題した公開シンポジウムを開催します。
- 徐々に「おかえりモネ」の出演者が明らかとなり，そのたびに市民の期待も大きく膨らんでおりますが，このチャンスを地域でどう活かしていったらいいのか考えている方も多いと思います。
- 本シンポジウムでは，ドラマの放送が舞台地にどのような効果をもたらすのかを朝ドラ舞台地の先輩である十勝・帯広に学ぶとともに，プロジェクトの目標である「モネファンを気仙沼ファンに」を市民の皆さんと共有し，本市でのドラマの効果を最大化させるための官民一体となった取り組みについて会場の皆さんと共に考えます。

### 【概要】

- (1) 行事名 連続テレビ小説「おかえりモネ」気仙沼プロジェクト  
公開シンポジウム 「おかえりモネに，はまらいんや！」
- (2) 日時 令和2年10月2日（金）午後6時30分から午後8時
- (3) 会場 気仙沼市民会館 大ホール（定員：先着500名）
- (4) 内容
  - 第1部 先行事例紹介  
仮題：「朝ドラで地域はこう変わる ～「なつぞら」の舞台 十勝・帯広～」  
話者：一般社団法人 帯広観光コンベンション協会 松田 里奈 様
  - 第2部 気仙沼プロジェクトの概要説明  
仮題：「おかえりモネ」気仙沼プロジェクトが目指すもの  
話者：連続テレビ小説「おかえりモネ」気仙沼プロジェクト実行委員会  
実行委員長 気仙沼市長 菅原 茂

### 第3部 パネルディスカッション

仮題：「おかえりモネ」への「なつぞら」からのエール

モデレーター：NHK 連続テレビ小説「おかえりモネ」広報展開プロデューサー 川口俊介 様

パネリスト：気仙沼市長 菅原 茂

一般社団法人 帯広観光コンベンション協会 理事

真鍋庭園 代表 真鍋憲太郎 様

一般社団法人 帯広観光コンベンション協会 事務局 松田里奈 様

大島婦人会 会長 白幡やしよ 様

気仙沼つばき会 会長 斉藤和枝 様

シンガーソングライター 熊谷育美 様

#### (5) 参加お申込み

10月1日(木)までに、ご参加される方の氏名(ふりがな付き)、年齢、ご住所、お電話番号を添えて下記あてEメールまたはお電話にてお申込みください。

#### 【申し込み窓口】

気仙沼市震災復興・企画部地域づくり推進課

電話 0226-22-3409

Eメール monemone@kesenuma.miyagi.jp

#### (6) 新型コロナウイルス感染症の予防のための措置について

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、会場内では必ずマスクの着用をお願いいたします。
  - ・会場の入り口で検温を実施いたしますので、時間に余裕をもってお越しください。
- 37.5℃以上の熱がある場合には、会場への入場をお断りさせていただきますのでご了承ください。
- ・手指消毒液を設置いたしますので、必ず消毒してから会場にお入りください。
  - ・また、ご来場者同士が密着しないよう、定員を半分に減らして開催いたしますので、必ず両隣の座席を空け、一つおきにお座りください。

#### <お知らせ>

上記市民向けシンポジウムのほかに、帯広観光コンベンション協会関係者を囲んだ勉強会を、市内事業者向けに別途開催の予定です。詳細は後日記者発表を行います。